

# 大鹿村中央構造線博物館たより 121号



2019年6月発行

TEL:(0265)39-2205  
staff69@mtl-muse.com

## 「大鹿村ジオツアー2019春」を開催しました！

5月18日(土)～19日(日)にかけて、博物館イベント「大鹿村ジオツアー2019春」を開催しました。各地から14名の参加者が集まり、鹿塩地区を中心に10箇所の観察ポイントを回りました。

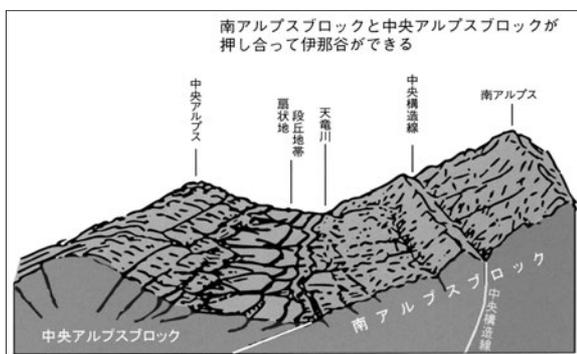


図1 中央アルプス・伊那谷・南アルプスを横切ったときの模式的な断面図  
松島・岡田(1993)「伊那谷構造盆地の活断層と南アルプスの中央構造線」より引用

1日目は、昼過ぎに博物館に集合し、まずは、夕立神展望台に向かいました。展望台の入り口のところで、緑色岩の露頭(写真1)を見学した後、展望台から見える広い範囲の地形を見渡してみました。南アルプス、伊那山地の稜線の高さが揃っている様子や、天竜川より西側では、東ほど尾根の高さが高くなる様子が見られました。河本学芸員によりまずと、南アルプスが一つのブロックとして、東ほど大きく隆起しているのだそうです(図1)。次に、大西公園(写真3)で昭和36年の大西山の崩壊跡地を目の前に、崩壊時の様子を、観音様の裏手でマイロナイトの岩石採集も行いました(写真4)。その後、博物館にいつ

たん戻って、大鹿村の立体地形地質模型を前に本日のルート確認をした後、宿泊地の塩湯荘に向かいました。



写真1 夕立神緑色岩



写真2 夕立神展望台



写真3 大西公園



写真4 観音様の裏手でマイロナイト岩石採集

2日目は、まず、中央構造線の作る地形の観察をしました。中尾集落の上から中央構造線に沿ってまっすぐな谷ができていた様子を眺め(写真5)、河合集落では、中央構造線の近傍の破碎された岩石が侵食されやすいためにできる断層鞍部地形を観察しました(写真6)。



写真5 中尾上部から中央構造線の谷



写真6 河合地区。道路の上が断層鞍部になっている。

その後、中央構造線北川露頭に向かい、露頭(写真7)の見学をした後、鹿塩川の下流の天然記念物指定区域外まで歩いて行き、河原の石ひろいをしました(写真8)。鹿塩川では、中央構

造線の両側から石が運ばれてくるため、いろいろな種類の岩石が転がっていますが、参加者の皆さんも、しばらくすると、内帯の岩石、外帯側の岩石を見分けられるようになってきていました。



写真7 北川露頭



写真8 北川露頭下流の鹿塩川で石ひろい

2日目の後半は、鹿塩地区の古い集落を回りました。まず、中峰集落に向かい、古い集落が標高の高いところに立地していることについて説明を受けた後、すぐ農園で昼食をいただきました。美味しいお蕎麦やケーキ、コーヒーに皆さん喜んでおられました。



写真9 入沢井かんらん岩の露頭



写真10 表面がつるつるした蛇紋岩

次は、梨原集落に向かい、葦原神社で教育委員会北村さんに神社の由来や歌舞伎の舞台について解説していただきました。さらに、入沢井集落で、大鹿村の天然記念物に指定されている樹齢900年の逆さ銀杏を見ました。

最後に河原嶋奥の昨年大雨による災害復旧工事現場に特別に入れていただき、かんらん岩の露頭を見学しました（写真9）。かんらん岩の一部は熱水変質して、つるつるした触り心地の蛇紋岩になっていました（写真10）。

今年は、秋にも10月24日(木)～25日(金)に、ルートを変えて大鹿村ジオツアーを開催予定です。通いでの参加も歓迎いたしますので、村内の方もよろしければ、是非ご参加ください。

(宮崎)

## エコパークスキルアップ講座第1回 「木の名前を覚えよう！」を開催しました！

大鹿村は、村内全域が南アルプスユネスコエコパーク(生物圏保全地域)に登録されています。まず大鹿の森のありふれた木を知ることから始めたいということで、『ひるま植生Salon』の蛭間啓さんに上田市から来ていただき、南山の標高995m～1120mの広葉樹林を観察しました(写真11, 12)。大鹿村民を中心に20名ほどの参加者で、初回の今回は、ともかく目立つ木に名札を付けていきました。

ゆっくり一日歩いただけでも、どんな木があるのか、おおよその見当がつかしました。主にヤマハンノキ・イヌシデ・コナラ・ミズナラ・クリ・オニグルミ・エゾエノキ・ミズキ・クマノミズキ・バッコヤナギ・ホオ・サクラ類・カエデ類が多く、カツラ・ハルニレ・コブシ・ケヤキ・アベマキ・ニガキ・アワブキ・シラカバもありました。中低木ではハシバミ・ダンコウバイ・アブラチャン・ガマズミ・アオダモなどがありました。

これからも同じ山で観察を続けます。第2回は9月30日(月)に実施予定です。名札を付けた木について、少しずつ、蛭間さんに見分け方を教えていただければと思います。是非ご参加ください。(河本)



写真11 高枝切りはさみで葉を採取しました



写真12 木の名札を付けていきました